

船舶事故調査報告書

平成25年6月13日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 庄 司 邦 昭
 委員 根 本 美 奈

事故種類	操縦者行方不明
発生日時	平成24年7月21日（土） 11時05分ごろ
発生場所	秋田県仙北市田沢湖南岸沖 仙北市所在の院内岳山頂（751m）から真方位070° 2,320m付近 （概位 北緯39° 42.1′ 東経140° 39.7′）
事故調査の経過	平成24年8月20日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）ほか2人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての操縦者からの意見聴取は、本人が行方不明のため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	水上オートバイ E.T.タダッチョーGO-GO、0.2トン 230-49015岩手、個人所有 2.93m(Lr)×1.16m×0.44m、FRP ガソリン機関、144.2kW、平成18年4月
乗組員等に関する情報	操縦者 男性 20歳 操縦免許 なし
死傷者等	行方不明 1人（操縦者）
損傷	なし
事故の経過	操縦者は、家族や友人7人で平成24年7月21日朝から田沢湖南岸を訪れ、バーベキューパーティーを行っていたところ、家族所有の水上オートバイ（以下「本船」という。）を操縦し、急旋回を繰り返して遊走中、11時05分ごろ、大沢ヨットハーバーの北西方約100mにおいて、落水して水没した。 目撃者は、水上オートバイに乗っていた者が湖面に落水し、沈んで浮いてこない旨の110番通報を行った。 秋田県警察及び地元消防署は、本事故発生後から3日間捜索を行ったが、操縦者は発見されずに捜索を終了し、その後、7月25日から岩手県山田町のNPO機関が約2週間捜索を行ったが発見に至らず、操縦者は行方不明になった。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南東、風力 3、気温 約21℃、 海象：水温 約22～23℃
その他の事項	船舶所有者は、本船を大沢ヨットハーバーと呼んでいるスロープか

	<p>ら湖面に下ろした。</p> <p>操縦者は、救命胴衣を着用していなかった。</p>
<p>分析</p> <p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>操縦者は、行方不明となった。</p> <p>本船は、田沢湖南岸沖において遊走中、操縦免許証を受有していない操縦者が、急旋回を繰り返したことから、落水して行方不明になった可能性があると考えられる。</p> <p>操縦者は、落水して行方不明になったものと考えられるが、行方不明に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>操縦者は、操縦免許証を受有しておらず、本船に乗船してはならなかった。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が田沢湖南岸沖において遊走中、操縦免許証を受有していない操縦者が、急旋回を繰り返したため、落水したことにより発生した可能性があると考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 船舶所有者は、水上オートバイを操縦する者が、特殊小型船舶操縦士の免許を受有しているか確認すること。 ・ 水上オートバイを操縦する者は、特殊小型船舶操縦士免許の受有者であること。 ・ 水上オートバイに乗船する場合、海中転落に備えて救命胴衣を着用しておくこと。